

第六次総合計画・基本計画の改定に向けた

多摩市の未来づくりワークショップ
開催結果について

多摩市の未来づくりワークショップについて

第六次総合計画・基本計画の改定にあたり、市民の皆さんから多様なご意見をいただき、基本計画に反映するため、多摩市の未来づくりワークショップを開催しました。

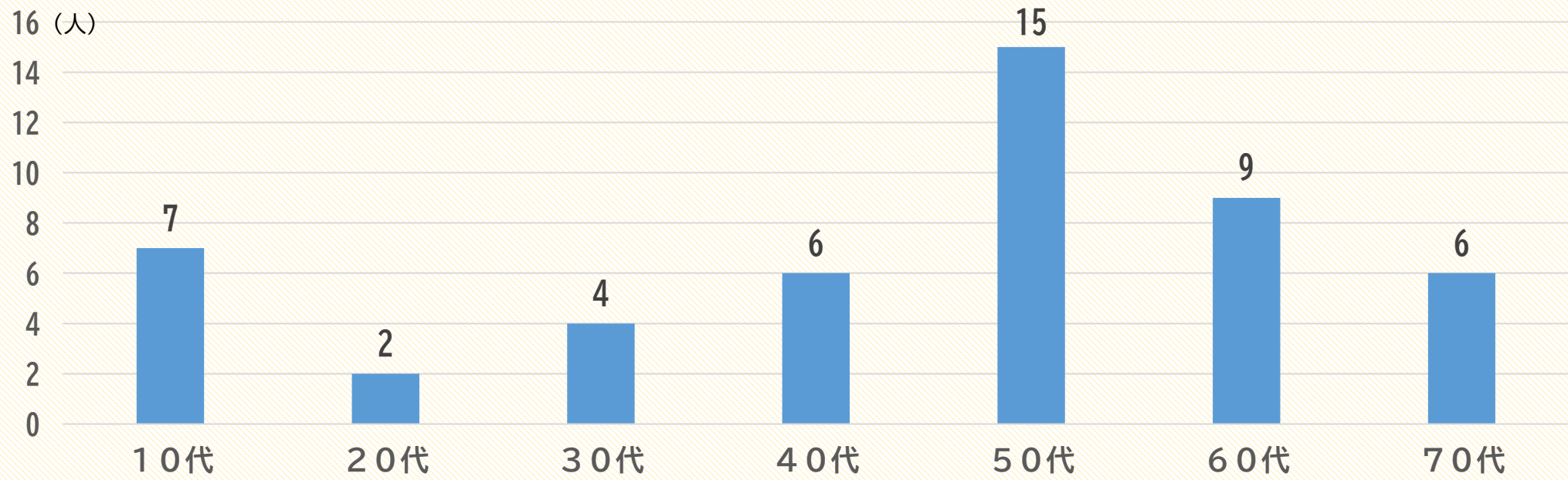
日時、場所	①令和8年6月6日（土）14時00分～16時00分 関戸公民館 ②令和8年6月13日(土) 9時40分～11時40分 パルテノン多摩
参加者数	49名（①22名、②27名）
内容	6つの政策分野（A～F）ごとに少人数のグループに分かれ、以下のテーマに沿って計3ラウンドで話し合い、その結果をグループごとに発表しました。 グループごとの検討過程や発表内容、参加者からの感想等は、グラフィックレコードにより記録しました。 【ラウンド1】より良い多摩市の姿とは。「こうなったらいい！」という未来像 【ラウンド2】これからの多摩市に必要なもの 【ラウンド3】未来像に近づくためにわたしたちにできること
政策分野	【A】子ども、教育分野 【C】市民活動、コミュニティ、生涯学習、文化分野 【E】都市づくり、交通、防災、防犯、住宅分野 【B】健康、医療、介護、福祉分野 【D】産業振興、雇用、観光分野 【F】環境分野

参加者について

①以下の対象者から募集を行いました。

- ・多摩市住民基本台帳に記載されている15歳以上の市民（無作為抽出3,000人）
- ・わがまち学習講座に参加された方（令和5～7年）

②参加者の年代



【A】子ども、教育

理想の未来像

- ・親が安心できるまち
- ・給食がおいしいまち
- ・デジタル教育が進んでいるまち
- ・子どもたちの交通安全が確保されているまち
- ・ひとり親世帯への支援が手厚いまち
- ・留学のチャンスが豊富にあるまち
- ・教育格差がないまち
- ・親子がともに悩みを解決できるまち
- ・インクルーシブ教育が実現されているまち
- ・勉強スペースがたくさんあるまち
- ・子どもの学びたいこと、挑戦したいことができるまち
- ・IT人材が育つまち
- ・子どもが明るく楽しく笑顔で暮らせるまち
- ・子どもが希望をもって育つまち



理想の未来像に近づくためには・・・

魅力を活かした取組を提案！

- ・配布されたiPadを活用して、インターネットリテラシーを高める場をつくる
- ・親子参加型の自然アクティビティを充実させ、親同士の情報交換を促進させる
- ・空き校舎の活用をし楽しく交流、安心できる場所をもっと増やす

課題を解決する取組を提案！

- ・親子の気持ちを伝えられる場を作る
- ・部活動を支える先生に手当を出す
- ・子どもたちの留学をサポートする
- ・体育館のエアコン整備を進める
- ・長期休暇時など学校以外のサポートを充実させる
- ・教員へのIT教育、ITに強い教師の採用

未来像に近づくために重要な取組

- ・親子参加型のイベントを充実し、親同士が情報交換できるような環境をつくる
- ・学校の教材タブレットに防犯システムを入れ、子どものSOSに反応、学校や親にメールが行くようにする

私たちにもできる！かも

- ・市民のノウハウや力を学校教育にも活用する
- ・検定指導員等に協力
- ・インクルーシブ対応

【B】健康、医療、介護、福祉

理想の未来像

- ・充実した医療を受けられる体制が整っている
- ・高齢者の方が家の外に出て活動している
- ・お年寄りの居場所がある
- ・介護支援が充実しているまち
- ・元気で健康的な人が多いまち
- ・プレシニア～シニア層がみんな健幸なまち

- ・介護の担い手が多いまち
- ・障がいのある人に優しいまち
- ・誰も取り残されないまち
- ・シニアでも活動できるまち



理想の未来像に近づくためには・・・

魅力を活かした取組を提案！

- ・市内にある看板を活かした禁煙推進
- ・市民と医師会との相談会
- ・公園に健康器具を更に設置する

課題を解決する取組を提案！

- ・病院整備、福祉施設整備への具体的な対応を進める
- ・高齢者が集まれる場所を作る
- ・認知症カフェの設置
- ・40歳から60歳前半くらいまでの介護前の人を対象したイベントの実施
- ・障がいに合わせたコミュニティづくり（手話コミュニティなど）
- ・障がい者支援ボランティアを募る
- ・福祉のしおりの更なる活用

未来像に近づくために重要な取組

- ・小中学校で健康や福祉に関する啓発活動を行う
- ・空き家を活かして子どもから高齢者が集まれる場を作る
- ・高齢者を助けてくれる学生ボランティアが活動できる場をつくり、発信する
- ・多様な広告媒体を活用した福祉事業のアピール
- ・障がい者、高齢者とボランティアのコーディネート

私たちにもできる！かも

- ・支援を必要とする世代を支える学生ボランティアを募る
- ・市民や企業に協力してもらい、駅やバス広告などで福祉事業をアピール

【C】 市民活動、コミュニティ、生涯学習、社会教育、文化

理想の未来像

- ・ 世代間格差がないまち
- ・ SNS上で市民活動が話題になり、盛り上がっている
- ・ 週末に高齢者と子持ちの家族がおしゃべりしている
- ・ 地域交流イベントに参加しやすい環境が整っている
- ・ 世代を超えて声を掛け合えるまち
- ・ いつまでも気にかけてくれる仲間がいるまち
- ・ お年寄りと子どもが外遊びしている

- ・ 各世代ごとに楽しめる空間がある
- ・ 全世代が幸福を感じるまち
- ・ 様々な市民参画が企画されているまち
- ・ 芸術や音楽を活かしたイベントが盛んなまち
- ・ 誰も孤立しないまち
- ・ 自由に語れるコミュニティがある
- ・ 年齢を超えた人とのつながりが充実
- ・ 地域活動が盛ん



理想の未来像に近づくためには・・・

魅力を活かした取組を提案！

- ・ 住民同士が結びつくイベントを公園等で盛んに実施する
- ・ 中央公園を利用した芸術祭の開催
- ・ パルテノン多摩の魅力的な催しを発信
- ・ 交流の場のさらなる充実
- ・ 神社コミュニティの活用

課題を解決する取組を提案！

- ・ 市民活動、サークル活動への支援を充実させる
- ・ 住民の趣味を活かしたイベントの開催
- ・ 世代間を横断する意見収集の場を作る
- ・ 大人が土日に来まれる場所を作る
- ・ サークル・コミュニティへの支援を強化
- ・ 歴史をもっと押し出す

未来像に近づくために重要な取組

- ・ SNSを活用した地域活動の可視化
- ・ 大人も子どもも憩える場を作る
- ・ 地域のつながりが大事にする

私たちにもできる！かも

- ・ 地域間の繋がりを強化する事業のモデルケースをつくる
- ・ ネットも活用して学校などで地域交流の資料を配布
- ・ 世代間コミュニケーションを積極的に行う

【D】産業振興、観光、都市農業

理想の未来像

- ・多摩市自体が、見学・視察対象になるまち
- ・住民が働く場所がある
- ・映画やドラマの聖地があり、住民も外部の人も楽しめるまち
- ・中心部だけでなく周辺にも魅力があるまち
- ・若い人が遊びに来たくなるようなまち
- ・若い人が集まる公園があるまち
- ・国内外から観光客がくるまち

- ・買物先が充実しているまち
- ・女性に優しい職場があるまち
- ・母親が働きやすいまち
- ・多様な働く場があるまち
- ・老若男女が楽しめるまち
- ・活気があるまち



理想の未来像に近づくためには・・・

魅力を活かした取組を提案！

- ・「耳をすませば」のモデル地をアピール
- ・日アニ・サンリオ・しまじろうなどのキャラクターの活用
- ・地元で活動する企業とのコラボ
- ・魅力ある遊歩道のアピール
- ・団地民が週替わりで商店街で運営できるお店をつくる
- ・アイスランドとの交流をアピール
- ・ドラマ、映画撮影地の聖地巡礼イベントを実施

課題を解決する取組を提案！

- ・生活用品が買える店を充実させる必要
- ・宿泊施設の誘致、民泊の活用
- ・サンリオ以外の観光地をアピール
- ・多摩中央公園でフリマや屋外ライブなどを実施
- ・市内だけでなく、市外から人が集まる企画をする
- ・花火大会の復活

未来像に近づくために重要な取組

- ・コンセプトがあるお祭りやイベントの開催（サンリオとのコラボなど）
- ・大型ショッピングセンターの誘致
- ・宿泊施設をつくる
- ・聖地巡礼イベントの実施

私たちにもできる！かも

- ・住民を力を活用した広報の仕組みをつくる
- ・若い世代を中心に商店街まちづくりに積極的に参加する
- ・イベントなどで地域の人たちと楽しく交流し、つながる

【E】都市づくり、交通、防災、防犯、住宅

理想の未来像

- ・災害に強いまち
- ・小中高校生が特殊詐欺の受け子にならないまち
- ・空調管理をはじめとした防災システムが整ったまち
- ・防災相談窓口がある
- ・雪に強い、滑りにくい歩道が整備されている
- ・深夜でも安心して歩ける明るい道が整備されている
- ・子育て世代（ベビーカー）が歩きやすい歩道が整備されている
- ・信号を渡らず多摩市中に行ける
- ・バリアフリーなマンションがあるまち
- ・エレベーターがあるまち
- ・自転車の道が整備されているまち
- ・絵のような美しいまち
- ・好きな時に好きな場所に行ける
- ・交通の便がよいまち
- ・治安良いまち



理想の未来像に近づくためには・・・

魅力を活かした取組を提案！

- ・シェアサイクリングのスポット増加
- ・モノレールの延伸
- ・中央公園で防災設備の模擬体験ができるイベントを実施
- ・遊歩道に手すりをつける
- ・空き団地を活用して、学生が住める場所を作る

課題を解決する取組を提案！

- ・自転車専用レーンの整備
- ・バス運転手の給料を増やす
- ・ガードレールを増やす
- ・滑りにくい、水はけのよい素材の道を整備
- ・曜日・エリア別の深夜バスの運行
- ・防災訓練を毎月●日のように決まった日にとすると市民も参加しやすい
- ・子どもたちが遊ぶエリアを重点的に見守る（防犯カメラの設置）
- ・幹線道路の騒音対策
- ・バス便の増加

未来像に近づくために重要な取組

- ・自転車と歩行者が共存できるまち
- ・公共交通機関の充実
- ・通学路になっている幹線道路には防犯カメラを普及させる
- ・地区ごとではなく、市全体で防災に取り組む
- ・夜間でも安心できる明るい歩道をつくる

私たちにもできる！かも

- ・団地の枠を超えた助け合い
- ・バスを利用する
- ・各家庭でも防犯カメラやセンサーライトを設置する
- ・地域間の繋がりをもっと強固にする

【F】環境

理想の未来像

- ・CO2の削減量が見える化されている
- ・ゼロエミッションが推進されている
- ・リサイクルが推進されている
- ・粗大ごみが処分しやすいまち
- ・季節感のある樹木と花がある楽しく歩けるまち
- ・自然と距離が近いまち
- ・豊かな自然を一層感じられる
- ・人と自然が共存できるまち
- ・自然を活かしたイベントがあるまち
- ・空が広く見えて、明るいまちにする
- ・二酸化炭素の削減が進んでいる
- ・ポイ捨てがないまち
- ・緑の多いまち



理想の未来像に近づくためには・・・

魅力を活かした取組を提案！

- ・ペロブスカイト活用による明るい歩道、省エネ化
- ・景観や道路などのインフラにあった緑地計画を進める
- ・自然や緑をもっと売り出す
- ・剪定した木材を利用したイベントの実施
- ・自然を活かしたまちの設計を進める

課題を解決する取組を提案！

- ・EV車の普及促進
- ・緑の保全と再生を進める
- ・ソーラーパネルの普及
- ・歩道の植物の定期的な管理
- ・草取り、園芸を地域と協力して行っていく

未来像に近づくために重要な取組

- ・EV車の普及促進
- ・太陽光パネルの設置
- ・ごみの分別
- ・環境を守る活動を学校などで子どもたちに啓発する

私たちにもできる！かも

- ・ごみの削減
- ・エコバックの利用
- ・ゴミの出し方の注意喚起
- ・緑地化のために住民からの意見を募る

グラフィックレコード（6日：関戸公民館）



